

中央図書館のリニューアルについて

1 目的

中央図書館の開設から20年以上が経過し、図書館を取り巻く環境も変化している。そこで、生涯学習センターの機能強化に併せ、図書館においても、時代の変化に対応した施設にリニューアルし、機能の強化を図るものである。

2 対応すべき課題

(1) 老朽化対策と新しい時代に即した空間づくり

老朽化した設備等の更新及びユニバーサルデザインの導入に加え、利用者が訪れたいくなるような魅力ある読書空間づくりが必要。

(2) 利用しやすい環境整備

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）の施行により、これまで以上に障害者の方も本や情報にアクセスできる読書環境整備が必要。

また、ICT技術の進展により、ICTを活用した学習等に対応できる環境整備が必要。

(3) 生涯学習を支える新たな機能

静かな読書や個人学習にとどまらず、図書館の資料や情報を活用して、仲間と話し合うことにより様々な課題に取り組める環境整備が必要。

3 リニューアルのコンセプト

自然の光と木のぬくもりを感じる

明るく開放的な図書館

- 図書館全体を木目調にリニューアル
- 図書館案内サインのデザイン・色の統一化

「人」と「本・情報」をつなぐ

誰もが利用しやすい図書館

- 読書バリアフリー環境の充実
- 郷土・資料調査室「企画展コーナー」のレイアウトの変更
- カウンターの拡充
- Wi-Fi 環境の整備及び電子機器持込席の増設
- ICT の活用

「人」と「人」をつなぐ

交流できる図書館

- こどもとしょじつ「おはなしのへや」の拡充
- (仮称)アクティブラーニングルームの新設
- (仮称)ワークショップルームの新設

4 リニューアルの概要

資料2-2「中央図書館リニューアルの概要」のとおり